



さかえ

平成29年
1月号
第398号

発行 / 栄村役場

謹賀新年



主な内容

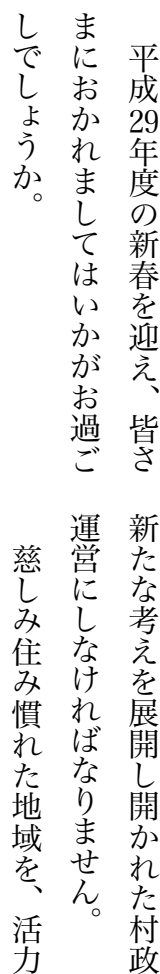
12月17日（土）さかえ倶楽部スキー場の21年目のシーズンが始まりました。

当日は雪の中、大勢のスキーヤー、村民、関係者が集まり賑やかなオープンとなりました。

写真はスキー場のDコースからの一枚です。天気が良ければ津南町から野沢温泉村までを望める大パノラマが一望できます。

■年頭のごあいさつ	P2-4
■森重副村長紹介	P5
■民生児童委員改選について等	P6
■起業支援事業について等	P8
■臨時職員募集について等	P10
■保健だより	P14
農業委員会だより「のぞみ」(第77号)	P16-19

栄村長 森川 浩市



今年の干支である「酉」にちなみ、栄村への想いの声を大きく響かせ、大地をしつかりつかみ、雄々

ある「日本一安心できる村」にするため、各種事業の取組みを実施するものであります。

私は、村政の基本は「住民が主としていただいております。約2千人の村の村の皆さまを、

人口約2千人という小さい村ですが、日本有数の豪雪地帯という厳しい環境の中、先人は縄文時代から住み続けてきました。そこには知恵を出し、和をもつて協働（共同）して生きてきた暮らしがあったものと考えます。

いう大きな船で、「日本一安心できる村」に向けて出発し、舵取りが始まりました。それから7か月余りが過ぎ、進むべき道を邁進するため、皆さまのお力を借りながら職員共々、その地盤固めと、更なる一步に取り組んでまいります。

私たちが共に考え進む道を拓き、
そして、12月5日に森重俊幸氏

平成29年度予算においては、新たな視点で捉えた事業の組み立てが進んでおります。

介護福祉事業については、4月1日より（社）栄村社会福祉協議会に、現在の訪問介護の他に、デイサービス等の介護業務の全ての事業を移行する計画です。ショートステイの復活、体の機能を維持させるための介護予防事業に重点を置くと共に、介護福祉の総合相談窓口を一本化し、自宅においても安心、安全に暮らせる基盤強化を図ります。

また、栄村の看護師や保健師として働きたい方のためにその支援

「新規雇用及び新規事業起業者への助成」制度も新たに創設したので、起業者（企業者）に支援措置を活用いただき、村内への雇用を進めていただきたいと思います。

さて、観光については、秋山郷宿泊型（温泉、山岳、サイクリングロード、巡回観光バス営業所設置と運行等）と、武蔵村山市、横浜・市栄区等の姉妹友好都市と交流推進、そして「さかえ倶楽部スキー場」夏場観光（食、駅、雪室、絵手紙等）をメインの取組みとし、新たなビジネスチャンスの階段を創り上げてまいります。

昨年、秋山支所に「商工観光課」を移設しており、本年はそこを中心に秋山郷観光を広域化観光事業へと広げてまいります。

合わせて自然エネルギー活用として期待される「小水力発電」事業にも、ふるさと納税事業等を活用し、取りかかりたい計画であります。

- ・「子ども子育て支援事業」

・「空き家再生と観光を結びつけたふるさとの家事業」

・「秋山郷救急体制整備」

(秋山郷に救急車を配置し、24時間の救急体制を構築する)

・「さかえ倶楽部スキー場の夏場の観光活用」

(日本一の豪雪地として夏場雪室観光等として整備し誘客)

・高齡者世帯の買い物支援、救助
世帯以外の屋根除雪対策等、今

後も村民の皆さまからの要望も含めて、事業提案し進めていく

計画です。

外部からの人材、技術等も積極的に活用し、武蔵村山市、横浜市栄区等の姉妹友好都市住民との交

流を一層進めるなど、村の地域資源を様々な事業に活かし、更に事

業同士が連携して繋がることにより、そこに関わる、あるいは共感・共鳴してくださる人と人との繋がりが幅広く厚く強化されたものとなり、ひいては、それが25年後を見据えた、新たな村づくりに邁進していくものと思います。

村民代表の方からも関わっていただいております第6次村総合振興計画が出来上がります。

また、事業初年度にあたり、職員も震災復興計画の考えを新たに、人口ビジョンも考えながら、「日本一安心できる村」のために取り組んでいただく所存です。

さて、何よりも願うのは、村民皆さんのご健勝と災害の無い一年になることです。

どうぞ平成29年も村の発展に向けた各種事業等にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

基幹水路の整備改良に向けた測量設計及び事業着手に取りかかり、

て、昨年60周年を迎えたことを機に、「栄村史」偏纂にも取りかかります。過ぎしそれぞれの歴史において、村民の皆さまからの情報等のご提供につきましてもご理解とご協力をお願い申し上げます。

横倉農村広場については、親子で集える公園として、桜の苗木植樹と遊具も含めた整備を行う計画です。

事業立案に向けて取り組む「特命対策課」を設置しました。現在の

業振興に寄与しています。今後は特Aのコシヒカリに、新商品（加工品等）開発も加え、安定した制度に向けて研究いたします。

昨年7月1日、私として村民の皆さまの提案を直に研究検討し、

福原 和人

新年明けましておめでとうございます。
村民の皆様におかれましては、それ
ぞれの夢や抱負を胸に、新たな輝かし
い新春をお迎えのこととお慶び申し上
げます。

冬の到来が心配された、さかえ倶楽部スキー場のオープンングセレモニーは、コースの全面滑走とまでは言えないものの、大勢のスキーヤー、村民、関係者の皆様に来ていただいて盛大に開催されたことは、雪国の幕開けを告げるすばらしいスタートとなりました。適度な雪は、スキー場のみならず地域経済にも大きく影響をもたらすと共に、雪国としての生活文化や暮らしには欠かすことのできない風物詩でもありますので、この冬もある意味、安定した降雪を望むところです。

昨年は、全国各地で大きな自然災害が発生しており、多くの人命を奪う災害が続くたびに、県北部地震の記憶がよみがえります。今後も、予期せぬ大災害が予想される中で、一人一人が日常から防災意識を高めながら、被害を最小限にとどめる対策を施す必要があると思います。

さて、昨年4月24日に施行された村長選挙と議会議員補欠選挙により、森川新村長ならびに3人の議会議員が当選されました。議会議員においては、過去に例を見ない3名が第16期の任期途中で辞職したために村長選挙に合わせて行われましたが、一時期は議会内部では議会構成や議会運営など様々な難題がありました。私自身も貴重な経験をしたことで、いまさらではあります。が重責としての役割をあらめて感じた次第です。

5月16日から森川村政がスタートし、特命対策課の新設、商工観光課の秋山支所への移動などの機構改革があり、さらには企業支援や起こす起業支援、奨学資金の拡大などの創設、デイサービスなどの社会福祉協議会への委託の検討と様々な取り組みが進められています。言うまでもなく、議会は村民の代表であり、行政のチェック機関であり、行政の追認機関ではありません。行政からの提案を受けて審議し、可決の採決をします。行政と議会の中では当然、認識の相違や視点の違いから激しい議論のやりとりがありますが、どちらも住民の生活の向上と栄村の発展を考え、この提案、発言であります。そういう観点から今後も活発な議会運営がなされるように努めたいと思います。

10月1日には、村制施行60周年記念式典が行われました。旧水内村と堺村が昭和31年9月30日に合併し、栄村が

誕生しました。この長い歴史を歩んできた背景には、絶えず先人達の並々ならぬ努力と知恵が施されてきました。豪雪を克服し、この地の厳しく険しい環境を血の滲む思いで切り開き、上手に活用してきた勇氣と氣迫を、そして、そこから生まれた歴史と伝統を私たちがしっかりと受け継いで、更に後世へ引き継ぐことが求められています。

新しいことを興すうえで、我が村の歴史や文化をしつかりと認識しながら、そして時代の流れをくみ取りながら進めることがいつまでも足腰の強い郷土の発展につながると共に先人達への感謝と意志を受け継ぐことにつながると考えます。村民の皆様と考えを共有し、協調しながら村づくりを進めていききたいと考えます。

平成29年度の予算編成に向けて、総務文教、産業社会の2つの常任委員会ごとに予算樹立に関する提言書を村に提出しました。

主な提言内容は、復興基金を含むすべての基金の村民へ潤いある活用、地域おこし協力隊の増員、空き家対策の取り組みに伴う人口減少の解消、苗場山麓ジオパークへの積極的な参画、里山、森林保全環境の整備と若者の雇用環境の整備、集落営農の充実から6次産業化につなげる農産形態の確立、自然エネルギービジョンの策定と導水路の改修取り組みの強化などです。

村長の女房役である副村長として森

重俊幸氏が12月5日付で就任されました。栄村の歴史上初の民間からの起用となります。議会との対面式で「栄村のことを何も知らないから、逆に新鮮な視点で物事を捉えて、判断して村づくりを進めたい」と決意を述べられました。60周年の節目を迎えた栄村が新たなトップ2の誕生と共に新生スタートした年となりました。これを期に、時代の流れと共に変革している住民ニーズを的確に判断しながら明るく俊敏な村政運営が図られることを期待しております。

議会は本年4月に改選選挙が行われます。定数も2人減の10人となります。活性化特別委員会では、定数の他に住民懇談会の実施なども検討しましたが、現実に至りませんでした。まだまだ議論の回数が足りないと感じています。

村民の皆様が、議会にもっともつと関心を持っていただける、参画しやすい環境の整備をしなければならぬと思います。

第16期の議会任期はあと数カ月となりましたが、引き続き村民の皆様の暮らしを最優先に責任を果たしてまいります。

本年もなご一層の御支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、栄村の限らない繁栄と村民の皆様の御健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年の御挨拶いたします。

副村長就任あいさつ

栄村副村長 森重 俊幸



▲着任式にて抱負を語る森重副村長

このたび、森川浩市村長のご推薦を受け、9月の定例議会におきまして議員各位の格別のご高配を賜り、議会の同意を得まして、12月5日付で栄村の副村長を拝命いたしました。

これまで40年間、「教育職」に身を置いてまいりましたが、辞令交付を受けまして、副村長の職責の重大さを鑑みますと改めて身の引き締まる思いでございます。

私に課せられている副村長としての職務を全うすることはもちろんのことですが、次の三点にも尽力したいと考えております。

①「村長の公約を具現化する」

現村長は、5月の村長選において住民の皆さまから村政を付託され、その公約実現のために日々精力的に職務に取り組んでおられます。私は副村長としてその具現化を図りつつ、時には進言できるように尽力してまいります。

②「役場の活性化を図る」

組織は、各部署・個人の役割を果たすことで多くの成果を生み出すことが可能になります。村長が具体的な目標を示し、その具現化のために職員が自らの目標と連鎖させる、いわゆる『目標の連鎖』によつて行政施策に取り組むことで役場が益々活性化し、栄村に関わる全ての皆さまが自己有用感や達成感、そして成就感を共に味わえるように尽力してまいります。

③「住民の皆さまとともに」

日本「安心な村」を創造する

栄村の主役は、お一人おひとりの住民の皆さまです。住民の皆さまと皆さまの代表である議員の方々、そして行政が一体となつて活気のあふれる村を創造するために、私はその



森重俊幸 副村長
(昭和26年生れ)
(広島県出身)

【經歷】

- ・明治大学政治経済学部政治学科卒業
- ・兵庫教育大学大学院学校教育研究科
学校教育専攻 修了
- ・厚生省（現・厚生労働省）医務局
　　〓 中略 〓
- ・廿日市立津田小学校（校長）
　　〓 中略 〓
- ・長野大学社会福祉学部（教授）

潤滑油として尽力してまいります。

今後は、村長の補佐役として、村長の指導の下、住民の皆さまのご期待に応えるべく、住民・議会員の皆さまのお力添えを賜りながら、全ての役場職員とともに全力を挙げて栄村の発展に貢献できるように誠心誠意職責の遂行にあたつてまいります。

私のモットーである、「さらに
一歩前へ！夢と希望と勇気をもつ
て!!」を胸に精一杯頑張つてまい
りますので、皆さま方のご指導ご
鞭撻のほどをお願い申し上げ、就
任の挨拶といたします。

栄村議会議員一般選挙の
選挙期日が決まりました

栄村選挙管理委員会は、平成29年5月20日任期満了に伴う「栄村議会議員一般選挙」の選挙期日等を次のとおり決定しました。選挙後の議員定数は12人から10人となります。

◇告示日 平成29年4月18日（火）
◇投開票日 平成29年4月23日（日）

【問合せ先】

栄村選挙管理委員会
(役場総務課 行政係)

0269-8731-112

「こんにちは県議会
です」を開催します

住民の方々と県議会議員が意見交換・懇談を左記日程で行われますので、ぜひ傍聴にお出かけください。

◇日時 平成29年1月26日（木）

13時30分～15時15分

◇場所
かたくりホール

◆意見交換テーマ

「中山間地域の活性化について」

【問合せ先】

総務課
行政係

0269-8731-112

委員氏名	集落	担当地区	備考
小林けい子	白鳥	白鳥	
上倉文明	平滝	平滝	副会長
島田哲	青倉	横倉・青倉	会長
広瀬昭子	森	森・塩尻	
島田たつ子	箕作	泉平・箕作	副会長
南雲恒子	月岡	月岡・小滝	
阿部貞幸	大久保	野田沢・大久保・天地	
広瀬幸利	志久見	雪坪・志久見・柳在家・切欠	
齋藤進	長瀬	長瀬・原向・笹原・当部	
桑原光男	中野	坪野・天代・北野・ 中野・極野	
福原英二	小赤沢	小赤沢・五宝木	
山田義孝	上野原	屋敷・上野原・和山・切明	
広瀬文子	白鳥	村内全域	主任 児童委員

民生児童委員が
改選されました

このたび、民生児童委員の全国一斉改選が行われ、13名の方が新たに厚生労働大臣から委嘱されました。

て地域福祉の調整にあたるとともに、皆さんの一番身近な「相談員」です。高齢者世帯の見守りや介護、医療、保健など生活に関する悩み事、問題など、どうぞお気軽にご相談ください。

◇任期	平成28年12月1日～
	平成31年11月30日

区 分	対 象 者
老 人	68歳以上～70歳未満の方
障害者	身体障害者手帳1・2級の方
	身体障害者手帳3級の方
	65歳以上で身体障害者の方
	療育手帳A1・A2・B1所持者の方
	精神保健福祉手帳1級所持者の方
	精神保健福祉手帳2級所持者の方
乳幼児・児童生徒	0歳～18歳に達する日以降の最初の4月1日までの方
母子・父子等	18歳未満（高等学校等卒業まで）の児童を扶養している方
	18歳未満（高等学校等卒業まで）の児童の方
	父母のいない18歳未満（高等学校等卒業まで）の児童

栄村福祉医療費給付金
事業をご利用ください

この事業は、対象者の方が病気で医療機関の診察を受けたり、薬局で調剤を受けた場合に、窓口で支払った自己負担金の一部をお返し（償還払い）するものです。

受給されていない方がおられましたらお電話にてご連絡ください。

なお、受給資格には所得制限がありますので、所得にに応じて対象とならない場合があります。また、受給資格によつては診察内容に応じて対象とならないものもあります。あらかじめご了承ください。

【問合せ先】

住民福祉課 戸籍住民係

0269-8731-114

**所得税・個人消費税・贈与税の
確定申告会場の開設について**

記入したらどうするの？

平成29年1月27日(金)までに、役場会計税務課または秋山支所へ提出してください。

納税相談を円滑に行うために、
収支の状況を事前にパソコンに入
力する必要があります。相談当日
に持参いただくと、申告相談に非
常に時間がかかり、他の方をお待
たせする事になりますので、必ず
期限内までに提出をお願いします。

申告相談はいつから？

申告相談の会場・日程については、広報さかえ2月号（2月1日発行予定）でお知らせします。

なお、税務署では下記の日程で確定申告が可能です。

【問合せ先】

0269-873111

050-3583-2114 (直通)

今年度の申告からマイナンバーの記載が必要になります。

税・贈与税の確定申告会場を設置

しますので、ぜひご利用ください。

◆会場

信濃中野税務署 2階会議室

◇期間 平成29年2月16日（木）

平成29年3月15日（水）

(土日、祝日を除きます)

◇時間 受付 午前8時30分から

(申告書の作成には時間を要しますので、午後2時頃までにお越しください。)

相談 午前9時～午後5時

《税務署からのお知らせ》

確定申告への復興特別所得税額の記載漏れにご注意ください。

平成25年分から平成49年分までの各年分については、所得税と併せて復興特別所得税の申告及び納付をすることとされています。

復興特別所得税の額は、各年分の基準所得税額（原則として、その年分の所得税額）に2・1%の税率を乗じて計算した金額です。

【問合せ先】

信濃中野稅務署個人課稅部門

0269-2231-53

確定申告書は自宅
等で作成できます

ご自宅等で確定申告書を作成する場合は、国税庁ホームページの『確定申告書作成コーナー』をご利用いただくと、夜間や休日など、ご都合のよい時間に作成することができます。

また、作成した確定申告書は、来署することなく郵送等でご提出いただけます。

軽自動車 廃車 手続きはお早めに

軽自動車税は、毎年4月1日に所有している方に課税されます。

次に該当される方は、お早めに
廃車手続きをしてください。

- ・使用していない車があるが、廃車手続きをしていない方

- ・他人に車を譲ったが、名義変更をしていない方

- ・ 村外に転出したが、住所変更をしていない方

【問合せ先】

会計税務課 会計税務係

0269-8731-111

起業支援及び雇用奨励についての
補助金制度が創設されました

村では平成28年12月より、次の事業に対し補助金を交付することとしました。

◆ 栄村新規雇用奨励事業補助金制度

○対象

村内の事業所に勤務させるため、村民を正職員として新規に雇用する事業者。

○補助金の額

- ・雇入日より12ヶ月まで、月額基本給の80%又は80,000円
のいずれか小さい額。
- ・13ヶ月から24ヶ月まで、月額基本給の60%又は60,000円
のいずれか小さい額。
- ・25ヶ月から36ヶ月まで、月額基本給の40%又は40,000円
のいずれか小さい額。

○申請方法

補助金申請書に、住民票、雇用

通知書、社会保険・労働保険の加入が確認できる証明書等を添えて提出していただきます。

◆ 栄村起業支援事業
補助金制度

○対象

新規の業種を行う方。

○補助金の額

対象となる経費の10分の8以内
で限度額200万円。

○申請方法

補助金申請書に事業計画書、収支計画書等を添えて提出していただきます。

【問合せ先】

商工観光課 企業係
(さかえ俱樂部スキー場内)
☎0269-87-3333

平成29年度
地域発元気づくり支援金
事業募集について

県では、豊かさが実感でき、活力あふれる輝く長野県づくりを進めるため、市町村や公共団体が住民と共に、地域の元気を生み出す事業に対して支援金を交付しています。

◇対象者

①市町村、一部事務組合

② 公共的団体等（公共的活動又は地域の活性化に資する活動を行う団体）

◇対象事業

自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業。（補助金額が30万以上）

※県及び地域で重点的に推進するテーマに該当する場合は以下の

◇交付対象経費

交付対象事業の実施に要する経費から、次に掲げる交付対象外経費及び特定財源を控除した経費

◇交付対象外経費

団体・施設の運営費や人件費、

食糧費等
◇支援金の交付額

事業	補助率	重点テーマ 補助率
ソフト	3/4 以内	4/5 以内
ハード	2/3 以内	3/4 以内

◆選定方法

地域に設置する選定委員会の審査を経て、採択事業を決定。

◇募集期間

平成29年1月5日(木)
平成29年2月1日(水)

◇応募方法

必要書類を役場総務課企画
財政係へ2部提出してくだ
さい。

【問合せ先】

北信地方事務所地域政策課
☎0269-230201

総務課 企画財政係
☎0269-873112

「食の祭典」名物料理
コンストの最終審査
会が開かれました

第2回津南町・栄村・秋山郷「食の祭典」名物料理コンテスト最終審査会を12月11日（日）に、津南町総合センターにて審査を行いました。結果を報告致します。

※栄村秋山郷観光協会ホームページに掲載中

◆最優秀賞

・飯山市 出澤真理子様
「そばの実・煎（ぜん）」

◆優秀賞

・長野市 伊藤春香 様
「そば粉で作ったおやきまん」

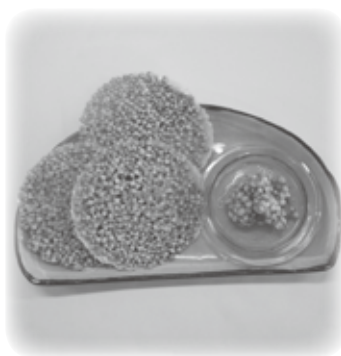
・中野市 小林珠季 様
「そばの実と山ぐるみのカンパニー」

・中野市 若林 佳奈 様
「野々海池の秋ゝ豊穰の幸オムレツ」

・木島平村 盛田奈緒子様
「そばヒザ」



▲受賞された皆さん



最優秀賞作品
「そばの実・煎(ぜん)」

悪天候の中、会場にお越しいただきました皆様大変有り難うございました。

【問合せ先】

信越秋山郷会事務局

（さかえ倶楽部スキー場）

0269-8733

栄村伝統野菜ししこしよ
う部会 入会者募集！

「信州の伝統野菜」に認定された
栄村のとうがらし、『ししこしょう』
その振興を図るため、会を立ち上
げました！

活動は、種の保存、栽培、加工品作り、PRと様々です。私達と一緒にししこしうで栄村を盛り上げていきませんか？

入会金は5000円、会の経費、活動費にあてる予定です。

【問合せ先】

栄村伝統野菜ししこしょう部会
会長 樋口 潔

0269-8722



北信保育園

クリスマス会

12月22日(木)北信保育園にてクリスマス会が行われ、園児たちによる歌やハンドベルの発表などが行われました。

最後にサンタクロースが登場し、プレゼントをもらうと「ありがとう」と言って満面の笑みを浮かべていました。



▲何がはいってるかな～



▲一人一人にプレゼントが配られました。

長野県シニア大学生
募集について

長野県シニア大学本部からシニア大学生募集のお知らせです。

《一般コース》

◇入学資格 概ね60歳以上の

県内在住者

◇募集人員 1200人（北信60人）

◇学習期間 2年 60時間／年

◆授業料 年額 10,000円

※この他に教材費や自治会費が必要

要となります。

《専門コース》

◆入学資格
概ね50歳以上の

県内在住者。

◇募集人員
30人

◇学習期間
1年
35時間／年

◆授業料 年額 26,000円

◇募集期間 平成29年2月1日

から平成28年2月28日

詳細につきまして、募集案内は

役場においてあります。その他左

記へお問い合わせください。

【申込み・問合せ先】

長野県シニア大学本部

☎ 026-226-3741

FAX 026-226-8327

FAX 026-226-8327

平成28年度栄村消防団 活動報告

栄村消防団では、「地域の安全は自分たちで守る!」という自覚を持ち、様々な活動・訓練を行いました。今後も更なる団の結束を図り、地域に根ざした防災体制の確立を目指していきますので、消防団活動への更なるご理解ご協力を宜しくお願いします。

4月29日「栄村観閲式」の開催

消防団員の職務遂行に必要な各種訓練及び機械器具等の点検を実施し旺盛な消防精神と厳正な規律を養うため観閲式を実施しました。当日は雨天となりましたが、団長以下112名が出動し、毅然とした態度で訓練を行いました。



5月～ポンプ操法訓練の実施

火災時に消防ポンプ操作を的確に行い迅速な対応を図るため、約2ヵ月間厳しい訓練に取組みました。この成果が発揮され、北信ポンプ操法大会で第2分団大巻部（保坂貞行・樋口大樹・南雲一輝・樋口瞭・南雲忠男）が第3位に入賞しました。



10月23日 「栄村防災訓練」の実施

様々な災害に対応するため、年間を通じて関係機関と連携した訓練を実施しました。特に防災訓練においては新たな試みとして、フランセーズ悠さかえと連携した車椅子の操作講習・北野天満宮において文化財の消火訓練を行いました。



【この他の消防団活動】

・4月・11月「火災予防パレードの実施」

消防車両による村内パレードを行い、火災予防の広報活動を実施しました。

- ・SL運行事業に係る給水活動及び警備

SLへの給水活動と警備を栄村消防団が実施しました。

試験運行日から合計24回の給水活動及び警備に延べ287名が出動しました。

・歲末警戒

年末は火災発生の危険性が増大することから、警備体制を強化し、併せて村民の皆様の防火意識の高揚を図ることを目的に12月27日から30日までの4日間実施しました。

・火災・遭難出動

平成28年度は火災出動2件、遭難者捜索活動1件に延べ81名の団員が出動しました。

vol.20



(復興支援員 高橋琢磨)

- 

岳北地域&津南町情報コーナー

津南町

木島平村

	火災	救助	救急	栄村の搬送医療機関
飯 山 市	1	1	70	飯山日赤 5
木 島 平 村	0	1	12	津南病院 0
野沢温泉村	0	0	18	そ の 他 7
栄 村	0	1	12	不 搬 送 0
管 轄 外 等	0	0	0	十日町地域消防署との 応援協定による出動を 含みます。

火を使う　その手で必ず　火の始末

1月の納税等

- 八十二銀行・県信 1月25日(水)

※振替指定口座の残高を事前にご確認ください。





新年の ごあいさつ

会長 渡辺 利正



謹賀新年

謹んで新年のお慶び申し上げます。

昨年は熊本県の大地震、東北地方、北海道地方の台風等大きな災害の被害が発生しました。当村は幸いにもこれといった大きな災害もなく、水稲では平年よりやや良といった収穫となりました。畑作の方では夏から秋にかけて長雨が続き、日照不足になり夏野菜等に影響が出たように、先の台風の被害も併せ、全国的には野菜価格の高騰が続いております。

栄村の農業を取り巻く環境は、大変に厳しい時期を迎えており、少子高齢化が進む中での担い手不足、後継者不足等が心配されております。米価の安値が続く

栄村
農業委員会だより

中での経済的な心配、また、全国的に米の需要が毎年8万トンずつ減少していることも要因の1つかと思われます。

行政による米の生産数量目標の配分は平成29年産米が最後となつて、30年以降は生産者が需要に応じた生産を行う事となります。

また、昨年4月1日から農業委員会法も改正となりました。当村は平成29年7月より新制度への移行となり、農業委員と農地利用最適化推進委員、2つの委員が業務を行う新たな組織がスタートいたします。新しい制度では、農業委員と農地利用最適化推進委員、共に連携をとり、農地パトロールなどを行いながら、担い手への農地利用の集積、集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等といった、地域の現場活

No.77

—発行—
栄村農業委員会
—編集—
農委編集委員会

動の強化が求められています。

農家の高齢化が加速する中で、担い手への農地の集積を進め、地域の水田を守り、効率的、継続的な生産を目指す集落の体制作りが必要な時代になっていると切に感じます。

アメリカ大統領もトランプ氏となり、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）離脱の考えを示し、大きく舵がきられそうなところ、日本の農業に良い影響があればと期待をしたいところです。

今年も、村民一丸となり、先を見据えてがんばってまいりましょう。

最後に、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

栄村に越してきて

青倉地区 島田 遥

父親の実家がある栄村青倉地区に越してきて平成28年11月で丸1年が経ち、記事として掲載していただく運びとなり移住して思ったことや感じたことを書きたいと思います。

現在、住んでいる家は祖父母が亡くなり、しばらくの間空き家状態にありました。父や叔父が家の管理をしていたものの家族間でも、住む人がいなかったため、誰も住む人がいないなら私が住もうと思ひ移住を決めました。

栄村に越してくる前は、山梨に住んでおり桃やぶどうを作っている観光農園に勤めていました。

自然が好きで農業にも興味があったので移住を決める一つとなりました。また、子供の頃には、よく夏休みや冬休みの時季に遊びに来ることがあり、断片的ではありましたが夏と冬の時季に過ごした記憶があったり、近所の方たちと少なからず顔見知りであったりとまるつきり知らない土地に移住

するわけではなかったため、移住がしやすかった面もありました。

しかし、こうして腰を据えて暮らすというのは初めてのことで遊びに来ていた時には感じなかったことや気付かなかったこと、初めて知ることばかりで暮らしていく上での不安もありました。暮らし始めてみると、不慣れで知らない

ことばかりの私に近所の人たちが生活に必要なことや土地柄のことや他にも様々なことを教えてくれ、また私自身のことを気にかけて下さり家どうしだけでなく人と人との結びつきが強く接するたびに温かいなと感じていました。

分からないことばかりで四苦八苦しながらも暮らしてみても、やっ

と1年が経ちました。

振り返るとあつという間で、始めは生活していく上での不安もありましたが新たに経験することや初めて知ることばかりで新鮮に感じることも大きかったです。周囲の自然が豊かな環境で楽しくも大変な生活であり、まだまだ不慣れな点が沢山ありますが1年、2年と今後も生活を通し様々な事を経験できる期待を大きく感じています。



(上) 島田遥さん ご自宅の前で

長野県農業委員会大会にて会長が表彰を受けました！



◀長野県農業委員会大会



▶表彰を受ける会長

十一月八日に伊那市で開催された、第二回長野県農業委員会大会にて、栄村農業委員会の渡辺利正会長が「長野県農業会議会長表彰」を受けました。

農業委員として、十二年以上勤務をされたこと、また、その活動が他の模範となることが認められての表彰です。

大会では長野県全市町村の農業委員が集まり、国への要請事項と自らの活動の申し合わせ議事を主に行います。栄村からも十二人の農業委員が出席をしました。

平成二八年四月の法改正より新制度の農業委員会になったことを受け、議事では要請、申し合わせどちらも農地利用の最適化の推進が中心に上がり、質問等も多く活発な大会となりました。

栄村ライスセンターの利用状況について

平成27年と28年の利用状況を比較すると、①荷受・乾燥調製状況では、すべての値で増加しています。それに伴い②集荷状況でも平成28年の方が増加しています。

栄村全体のJA集荷量に対するライスセンター利用率は、30.7%、またコシ特A比率は、88.9%となりました。

	稼働時間	①荷受・乾燥調製状況				②集荷状況			③栄村全体のJA集荷状況		
		荷受重量		荷受農家件数	持込回数	袋取り数			コシヒカリ	内 特A	あきたこまち
		コシヒカリ	あきたこまち			全体	内 (JA出荷米)	(保有米)			
H26	9月20日 ～10月17日	203,949.3kg	5,327.2kg	79件	328回	4,776袋 ／30kg	3,001袋 ／30kg	1,775袋 ／30kg	4,837.5俵 ／60kg	3,424俵 ／60kg	242俵 ／60kg
H27	9月20日 ～10月23日	234,649.7kg	4,371.4kg	86件	394回	5,127袋 ／30kg	3,038袋 ／30kg	2,089袋 ／30kg	4,455.4俵 ／60kg	3,629.9俵 ／60kg	206.7俵 ／60kg
H28	9月10日 ～10月23日	269,054.1kg	5,584.1kg	91件	435回	5,692袋 ／30kg	3,874袋 ／30kg	1,818袋 ／30kg	6,121.1俵 ／60kg	5,443.1俵 ／60kg	189俵 ／60kg

JAへの出荷量は前年比135%と多くの出荷を頂きました。

米の品質はおおむねよかったです、一部乳白粒があり、カメムシによる着色粒もありました。

食味値は脂肪酸度（老化）が高く、昨年よりも5ポイント低下しています。

(JAながの あぐりサポート栄)

農業委員会からのお知らせ

農地の貸し借りの際には 農地中間管理事業の活用を検討、 農地利用権設定の届出をお忘れなく

農地を貸したいが借りてくれる人が見つからない、法人組織等を立ち上げて地域単位で農地の貸し借りを見直したいといった場合には、農地中間管理事業が活用できるかもしれません。是非ご検討を。

また従来どおり、農地の貸し借りが相対で決まっている場合には、農業経営基盤強化促進法に基づく「利用権設定」の届出が必要です。忘れずに届出をしてください。

詳しくは、お近くの農業委員か農業委員会事務局まで随時お問い合わせください。



農地の売買・転用 には許可が必要です

農地は、自分の土地であっても売買する場合や耕作以外の目的に使用する場合は、農業委員会または知事の許可が必要です。農地の売買、転用等計画のある方は、お近くの農業委員か農業委員会事務局にご相談ください。



全国農業新聞を 読んでみませんか？

農業者の公的代表機関である農業委員会系統組織が農業者の視点でお届けする、週刊の農業総合専門誌が「全国農業新聞」です。

お申し込みは、お近くの農業委員または農業委員会事務局まで。

(毎週金曜日発行 月700円)



農業者の皆さん 農業者年金に加入しませんか？

加入要件：①60歳未満 ②国民年金第1号被保険者
③年間60日以上農業に従事

○少子高齢化時代に向けた積立方式の終身年金です。

○保険料の額は自由に決められます。

(月額2万円から最高6万7千円まで)

○年金は生涯支給されます。(80歳までの保証付きの終身年金)

○所得税・住民税が節税になります。

詳しい内容等お知りになりたい方は、お近くのJA、農業委員または農業委員会事務局まで。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。若い頃より一年が過ぎるのがだんだん早く感じられるのは私だけでしょうか。瞬く間に春夏秋冬が過ぎて、新年を迎えたように感じています。

昨年は熊本県の大地震、東北や北海道の台風災害、隣の新潟県糸魚川市での大火災など、栄村での震災や避難生活を思い出し、とても他人事とは思いませんでした。これらが大変だと思いますが、頑張って復興してほしいと思います。

農業委員となり、定例会での審議や農地パトロールなどを行ってきましたが、稲作、畑作共に農家の高齢化の進行を感じます。

各地区の改善組合や営農組織の方々も、年々耕作面積が増えているのではないのでしょうか。5年後、10年後にどうなってしまうのか考える不安でなりません。しかるべき対策を今後考えていかなければ、と思います。

昨年も農業委員会だより「のぞみ」に、大勢の方々の原稿の協力を頂き、大変ありがとうございました。これからもご協力よろしく願っています。

1 生活カレンダー

1 月 行事予定

4日(水) 役場仕事始め
29日(日) 栄村自然学校《栄村公民館 9:00》

健康ガイド

詳しい内容等については
健康支援課にお問い合わせください。 電話 87-3020

10日(火) 離乳食教室《集団健診室 10:00》
12日(木) ちょいとずく出してみよう会
《高齢者センター 14:00》
16日(月) 幼児健診《集団健診室 13:00》
18日(水) 子育て相談日《集団健診室 9:00》
19日(木) じょんのびサロン
《高齢者センター 10:00》
26日(木) ちょいとずく出してみよう会
《高齢者センター 9:00》

スキー場情報

15日(日) スキー子どもの日宝探し大会①
《さかえ倶楽部スキー場》
16日(月) ラッキーマンデー ※毎週月曜日が対象
(リフト1日券が1,000円)
《さかえ倶楽部スキー場》
21日(土) 村民アルペンスキー教室
《さかえ倶楽部スキー場 10:00》
2月11日(土) バレンタインチョコつかみどり
《さかえ倶楽部スキー場》
19日(日) スキー子どもの日宝探し大会②
《さかえ倶楽部スキー場》

皆さまのご来場をお待ちしております。



世帯と人口 (12月1日現在)

世帯数	864世帯	前月比-2
総人口	2015人	-3
男	967人	-1
女	1048人	-2

11月中の異動

出生	1
死亡	2
転入	3
転出	5



最高気温	19.8℃	11月13日 (日)
最低気温	-0.2℃	11月24日 (木)
平均気温	7.3℃	総雨量 122.0mm

◆ 編集後記 ◆

あけましておめでとうございます。
今年は酉年ということで、酉は「取り込む」の
トリという語呂合わせで、昔から商売繁盛の象
徴という意味もあり縁起が良いといわれますので
2017年は景気が上向き良い年になる事を願いた
いものです。

私はもうサル年は振り返えずに、今年は大ト
リを目指して一年間頑張りたいと思います。 (裕)